

老若男女の大勢の市民が集まり ワクワクするような 10年後の刈谷の未来を描きました！
～かりや未来ワークショップ 開催レポート～

2019年2月9日（土）9時半から16時、刈谷市産業振興センター4階の401会議室で、刈谷の未来について様々な市民が集まり一緒に考えるワークショップ「かりや未来ワークショップ」を開催しました。このワークショップは、まちづくりの目標を示すための総合計画づくりの一環で企画し、気軽に市民の皆さん同士で話し合い、刈谷の将来について考える機会を持ちたいと思い開催したものです。当日の活発な会議の様子をご紹介します。

■20歳代から80歳代まで様々な世代・分野の市民が参加

参加されたのは、市民22名と刈谷市の若手職員8名の計30名。市民の参加者には、昨年9月から10月に市が実施した「市民意識調査（刈谷市での暮らしの満足度などを調査するもの）」というアンケート調査の回答者の中から参加を希望された方や、市内でまちづくりに関して活動をされている方など、20歳代から80歳代まで幅広い世代の方に集まっていただきました。

■自己紹介をかねて10年後の暮らしを想像

まずは事務局から、会議の趣旨や一日の流れ、総合計画の概要について簡単に説明して会議をスタート。その後、分野別に5つのグループ（各6名）に分かれてもらい、自己紹介を行うとともに、10年後の自分や家族の年齢や家族構成、暮らしぶりの変化についても話し合いました。

【各グループの担当分野】

- グループ1…心身ともに健康に安心して暮らせるまち
（主に 健康、医療、福祉、生涯学習、生きがい、スポーツ 等）
- グループ2…子育てしやすいまち
（主に 子育て、教育、青少年育成 等）
- グループ3…自然と調和した潤いのあるまち、災害や犯罪などの不安のないまち
（主に 環境、自然、水辺、公園、防災、防犯、交通安全 等）
- グループ4…快適で利便性の高い魅力あるまち
（主に 道路・交通、住宅、景観、上下水 等）
- グループ5…地域資源を活かした活力あふれるまち、性別や国籍を超えてともにつくるまち
（主に 農工商、観光、雇用、交流・多文化共生、女性活躍、コミュニティ 等）

■グループ対抗のクイズで刈谷の現状をみんなで楽しく学習

具体的な意見交換に入る前に、まずはみなさんと一緒に刈谷の現状について確認するために、刈谷の人口や市民の暮らしぶり、刈谷市へのイメージなどの各種データについて、グループ対抗のクイズ形式で学習しました。参加者からは「自分のまち刈谷について知らないことも多い」などの意見も聞かれ、刈谷市の現状について理解を深めていただくことができました。



■10年後の刈谷市への「期待・長所」と「不安・短所」を議論

クイズを通じて楽しく刈谷市の現状を共有したあとは、今度は視点を「10年後の刈谷市」に切り替えて、10年後の刈谷市への期待・長所、不安・短所について未来思考でじっくりと議論しました。はじめは現状の問題点や課題などへの意見が多く出されましたが、徐々に10年後に発想を切り替えながら、将来的な視点から刈谷市の重点課題について活発に意見交換がされました。



■重点課題解決のための「未来プロジェクト」の提案

午後は、各グループで議論した10年後の暮らしの課題をとりあげて、それを解決するために市民が主体となって取り組むことができる新たな「未来プロジェクト」について提案していただきました。課題を解決することで「10年後に実現したい暮らしのイメージ」を描くとともに、その目標実現に向けた具体的な取組アイデアを出しあい、イラストや写真などのイメージ素材も使いながら1枚のプロジェクトシートにまとめました。



■成果発表及び意見交換、副市長からのコメント

最後に、各グループから成果を発表。しっかりと課題を踏まえた特色のある提案が数多くされるとともに、10年後の技術・テクノロジーの進化も見据えた夢のある事業内容も盛り込まれており、とても魅力的なプロジェクトが提案されました。

発表後、副市長の川口から各チームの提案に対してコメントさせていただき、プロジェクトの実現に向けて市民と行政が協働して取り組むこと、今後の重点課題や取組アイデアなどのご提案を踏まえ、市民とともに総合計画づくりを進めていくことをお伝えしました。

グループ	タイトル	提案概要
1	刈谷は広いぞ 外に出ろ	3育（教育・食育・体育）をバランスよく推進し、世代を超えて外に出て皆で楽しく学び、遊んで健康になろう
2	刈谷絆プロジェクト	世代間の交流（縦系）とコミュニティの交流（横系）により、助け合いながら子育てできる街、刈谷
3	みんなの公園	子どもや若者が安全に自由に楽しめて、高齢者の健康やいきがづくりにも役立ち、様々な交流が生まれる公園づくり
4	えらべるモビリティ @刈谷	自動運転や公共交通、シェアリングモビリティなどを組み合わせて、市民誰もが安全・便利・スムーズな移動を支援、慢性的な交通渋滞の解消
5	カリヤンカフェ	刈谷名物の発掘や、交流拠点（ハブ）となる場づくり、誰もが師匠になれる機会の提供などで、人と人のつながりを深める

■最後に全員で集合写真を撮り、継続的な協力をお願い

今回の未来ワークショップは、市民とともに作りあげる総合計画づくりのキックオフであり、今回の成果を活用して次年度さらに市民を交えた検討会議を発足する予定であることを説明しました。最後に集合写真を撮り、今後も様々な形で総合計画の策定やまちづくりの取組にご参加・ご協力いただくをお願いして解散となりました。

